

# 総合運動公園グラウンドを人工芝に



昨年6月に、総合運動公園で 開催されたミニサッカー大会

26年度予算  
総額80億円

## 施設整備に積極予算

### 3月定例会議

3月定例会議は、3月7日から17日までの11日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が施政方針を、次に千葉教育委員長が教育行政方針の演述を行いました。町長から提出された議案は、26年度一般会計と5特別会計など20件、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問では1名の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



長 鈴木町長  
町 施政方針  
(要約)

誰もが「住み続けたい町、誇りを持てる町」にする保育料の軽減を拡充して、子育て支援をさらに充実します。

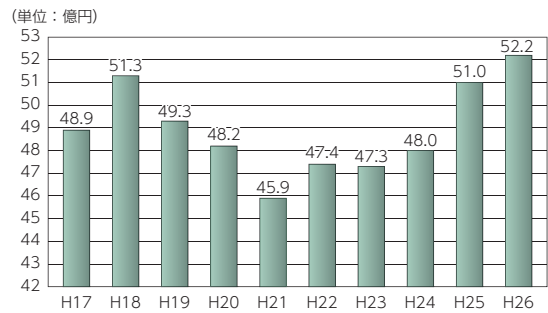
26年度は、総合運動公園の大規模改修や定住促進住宅の整備など定住対策につながる大型事業にも取り組みます。葛巻病院の改築や江刈簡易水道整備の早期完成を目指します。ソフト面では、水洗化率を県平均近くまで短期間に引き上げるため、水洗化工事に対する補助対象を一般世帯にも拡大します。年長児の保育料無料化に加えて、多子世帯に対する保育料の軽減を拡充して、子育て支援をさらに充実します。職員一人ひとりが行政のプロとして町民の視点に立ち、高いコスト意識と経営感覚を持って、地域活動にも積極的に参加します。また、困難な課題にも果敢に挑戦できるよう意識改革を進め、効率的な行政運営に努めます。

誰もが本当の意味での「豊かさ」や「幸せ」を実感し「住み続けたい町」、「誇りを持てる町」と思える、そして「山村のモデルとなる町」を目指し、さらに一歩も二歩も着実に前進します。

### 一般会計

26年度の一般会計当初予算は、52億2004万円、前年度に比べて1億1953万円、2.3%増加しました。

#### 一般会計当初予算額の推移



歳入は、全体の約6割を占める地方交付税が、29億7000万円、前年度に比べて4000万円、1.3%減少しました。

町債(借金)は、普通建設事業費が伸び、4億7100万円、前年度に比べて8190万円、21%増加しました。

町税などの自主財源の割合は全体の18%にとどまり、地方交付税などの依存財源に頼る財政構造にあります。自主財源の確保に努めていく必要があります。

歳出は、総合運動公園の改修事業や町道茶屋場田子線改良事業の本格化により、※1投資的経費が前年度に比べて2億1763万円、37.6%増加しました。施設整備を積極的に進める予算編成です。人件費は前年度に比べて1947万円、2.4%の減少、公債費(借金の返済額)は前年度に比べて9867万円、13%減少し、※2義務的経費を抑制しました。

一般会計予算の詳しい内訳は、3、4ページをご覧ください。

※1 投資的経費…施設建設など将来残るものにかかるお金。

※2 義務的経費…支出が義務づけられ、任意に削減できないお金。

### 特別会計

5つの特別会計の当初予算総額は、28億6814万円、前年度に比べて3億4496万円、13.7%増加しました。葛巻病院の改築と江刈簡易水道整備事業の予算が大きく増額したためです。各会計の予算額は、左の表のとおりです。

#### 特別会計当初予算額一覧

会計名	予算額
国民健康保険事業	10億9,888万円
簡易水道事業	5億4,393万円
農業集落排水事業	1億9,113万円
後期高齢者医療事業	6,747万円
国民健康保険病院事業	9億6,673万円
合 計	28億6,814万円